

One to One

熱い思いが成果になった

みやぎNPO夢ファンド中間報告会

雪の舞い散る寒い一日となった1月12日。平成19年度みやぎNPO夢ファンド助成団体中間報告会が開催されました。今年度、みやぎNPO夢ファンドの助成金を受けたのは11団体。事業の成果や今後の展望などを夢ファンド運用委員と来場者を前に報告しました。

みやぎNPO夢ファンド（以下、夢ファンド）は宮城県からの出資金と市民からの寄付を原資として、宮城県内で活動しているNPOを支援する目的で宮城県が設置するコミュニティファンド（地域基金）です。ファンドの運用については、宮城県とNPO法人せんだい・みやぎNPOセンターが分担し、「官民協働型」で担っています。

最大100万円（最長3年まで継続可能）が助成される「ステップアップ支援プログラム」の助成団体として、今年度は特定非営利活動法人移動サービス・ネットワークみやぎ、知的障がい者の社会参加支援ネットワークオレンジ、特定非営利活動法人みやぎ発達障害サポートネットの3団体が助成金を受けました。

今年度で最終3年目の助成となった移動サービス・ネットワークみやぎは、助成を受けている3年間で確立した事業の成果や、この間にNPO法人化したこともあげ、夢ファンドと支援してくれた県民への感謝の気持ちを表しました。

気仙沼市で障がい者の社会参加支援に取り組んでいる、知的障がい者の社会参加支援ネットワークオレンジは、4月から行われている日常活動サポート支援事業「地域塾」の報告を行いました。地元のボランティアグループやNPOとのネットワークを広げ、NPO法人ネットワークオレンジ（平成20年1月4日認証）の設立などステップアップが出来た成果を報告すると共に、今後の課題や解決に向けた展望などを発表しました。

初めてこの助成金に申請して初々しさのあった4月の発表から10か月。堂々とした中間報告からは事業を通じた団体の成長がうかがえました。



団体内部での研修事業などに対して助成される「人材育成支援プログラム」の助成団体は特定非営利活動法人アクアゆめクラブとピンパン☆の2団体。

七ヶ浜町総合型スポーツクラブを指定管理者として運営するアクアゆめクラブは、スタッフの技術向上のため、NPO理解、指導者セミナー、施設管理などの項目に分けた6回の「総合研修セミナー」を実施。この研修を通し、スタッフ間でコミュニケーションをとる機会が増えたことや、地域でのNPOとしての役割をスタッフ一人一人が再確認できたことなどをあげ、スタッフ研修の成果を発表しました。

「スタートアップ支援プログラム」の助成団体は、特定非営利活動法人ワンダーポケット、仙台筆笥を伝承する会、発達支援ひろがりネット、特定非営利活動法人ふあるま・ねっと・みやぎ、みやぎ夢燈花、特定非営利活動法人都市デザインワークスの6団体。



発達支援ひろがりネットは「第二回発達障害支援情報交換会～発達障害者の就労について～」の開催のために助成を受けました。情報交換会を通し、発達障がい者の就労の現状を情報発信できたことや、就労の実態をアンケート調査によって把握できたことなどの成果を報告しました。報告した事務局長の鈴木朋子さんは「今回の助成を足がかりに、団体の今後の基盤作りをすすめていきたい」と抱負を語りました。

昨年4月、5月に開催された公開審査会で選ばれ、助成金を受けている団体の発表は、審査員の昨年の記憶もまだ新しく、自らが選考した事業の行方を興味深そうに質問したり、アドバイスをしたりする場面もありました。

また総評では各団体の頑張りや成果を讃えらるとともに、助成が切れた後も継続、発展するような活動を期待すると締めくくり、外の寒さとは逆に熱気に満ちた報告会となりました。

平成20年度の「みやぎNPO夢ファンド」
助成の募集要項詳細はコチラ



みやぎNPO夢ファンド事務局

((特活)せんだい・みやぎNPOセンター内)

TEL: 022-264-1281 FAX: 022-264-1209

本格的にスタートします！地域連携交流事業

地域で活動するNPOを多くの市民に知ってもらうことや、NPO同士や地域づくり団体、ボランティアの会などのネットワークの連携や情報交換を目的に、県内6ヶ所で開催される地域連携交流事業。既に盛況のうちに終了した石巻を除く5地域での交流会がいよいよスタートします。

今回も、それぞれの地域のNPOや行政、社会福祉協議会が企画・運営に協力し、地元のニーズに沿った開催内容となりました。

意外と知らない地元の団体と出会う機会にもなっている地域連携交流会。地域の可能性を広げるためには是非ご参加ください。

■問合せ・みやぎNPOプラザ
TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533

大崎地域

NPO法人 情報交換会 in 大崎地域

- 日 時：2月28日(木) 14:00～16:00
- 場 所：大崎合同庁舎201会議室
- 内 容：大崎圏域で活動するNPO法人の情報交換会

仙南地域

せんなん・市民活動団体 大相談会&交流会

- 日 時：3月2日(日) 13:30～16:00
- 場 所：大河原町駅前コミュニティセンター(オーガ2F)
- 内 容：運営・会計・福祉事業・ボランティアコーディネーターなどの相談及び交流会

気仙沼・本吉地域

NPO・まちづくり大交流会

- 日 時：3月8日(土) 13:30～16:00
- 会 場：気仙沼市地域交流センター大ホール(ワン・テンビル内)
- 内 容：第1部 講演
第2部 参加団体活動発表 交流会
- 参加費：300円(飲食代込み)
- ※講演 「ひと」と「まち」が輝くために～福祉からのアプローチ～
講師 藤田佐和子氏
さわやか福祉財団インストラクター
NPO法人あかねグループ前代表

栗原地域

オラだずこれからなじょすっぺ交流会

- 日 時：3月9日(日) 13:30～16:00
- 会 場：栗原文化会館 大研修室
- 内 容：第1部 これからの栗原に関する6つのテーマに分かれての意見交換会
第2部 交流会
- 参加費：500円(お茶菓子代)

登米地域

地域連携交流会

- 日 時：3月20日(祝) 13:30～16:00
- 会 場：登米祝祭劇場 小ホール
- 内 容：第1部 市民発！市長さん聞いて！私たちの夢
第2部 交流会
- 参加費：500円(飲食代込み)



実践に役立つNPOマネジメントセミナー

県内10市町で全20講座を開催しているNPOマネジメントセミナー。後半に入って参加型のセミナーが好評です。中でも1月27日(日)、大河原町中央公民館で開催された『地域力を高めるためのNPO企画マネジメント集中セミナー』は、参加者が持ちよった地域課題をテーマに、課題の解決策の提案、企画から情報発信までの一連の流れを学び、実践型の講座となりました。

講師のNPO法人北海道NPOサポートセンターの事務局長小林董信さんからは、現状を見つめ今後の目標を立てることで対策がたてられるとして、参加者や団体が現在取り組んでいることや、今後取り組んでいきたいことなどをそれぞれ発表。その中から今回のワークショップのモデルテーマとして選んだのが、大河原町で病後児と学童の一時保育に携わる子どもの杜エールの課題。子どもの杜エールからは「利用者の増加、組織基盤の充実、資金面の改善」などの問題が出され、参加者は団体の現状と団体を取り巻く環境を分析し、それに対して今後の目標と対策を提案しました。また、小林さんは、北海道の事例や全国の資金獲得の方法など、すぐにも活かせるアドバイスで企画に肉付けしました。

参加者からは、「具体的な話になったので、とても参考になります。」「参加者の事業を題材としたので、受講者

も真面目に考えることが出来ました。」との感想。参加者から提案を引き出し、それぞれが解決へと向かうこのセミナーは、より身近で充実したものとなりました。



活動を広めるための情報発信セミナー ～ミッションを市民に浸透させるコツ～

多くの市民から支援を得られる組織になるには何が必要？もっと市民の理解が得られ、もっと市民の支援を受ける事のできる組織を作り出すポイントを考えましょう！

- 日 時：2月22日(金) 18:00～20:30
- 会 場：石巻文化センター 第一研修室
- 講 師：川北 秀人氏 (IHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表者)
- 資料代：800円

地域力を高めるためのNPO企画マネジメント集中セミナー

課題を共有し、その解決へ向けての企画、情報の発信までを学び、今後の団体活動をもっと盛り上げて市民を巻き込んでいきましょう！想いを実現していくための集中講座です。

- 日 時：2月23日(土) 10:00～16:00
- 会 場：大崎合同庁舎 大会議室
- 講 師：川北 秀人氏 (IHOE「人と組織と地球のための国際研究所」代表者)
- 資料代：1,000円

レストラン ぴあ

県庁でお弁当販売はじめました！

みやぎNPOプラザで「レストランぴあ」を運営している、NPO法人福祉ネットABC。知的障害者の自立生活を目指し、就労支援事業を展開しています。平成19年4月に「障害者就労支援多機能型事業所」として認可され、10月には仙台市若林区遠見塚にも「レストランぴあ」を開店。厳選された食材のランチとお弁当が好評を呼んでいます。この福祉ネットABCがこれまで培ってきたスキルを活かし、昨年12月20日から宮城県庁で弁当販売を始めました。

県庁では月曜日から金曜日まで毎日弁当を販売。内容は日替わりで、魚料理がメインのもの、肉料理がメインのものの2種類から選ぶことができます。このメインのおかずは炊き立てご飯、そして煮物や卵焼き、果物に自家製漬物などの副菜が彩りよく詰められて、税込500円。インスタントみそ汁もサービスし、それぞれ15食ほど販売しています。「食材は地産のもので、添加物が少なく身体に優しいものを使っています。また、できないものは使わずすべて手作り。皆さんに喜んでいただけるよう常に内容を吟味しています」と代表の佐藤耀代さん。このこだわりを実現するために、スタッフ（障害者）と支援者（職員）総出で頑張っています。

販売を始めてから約1か月。最初は不慣れだったスタ

ッフも大分慣れ、仕事も板についてきました。弁当は「おかずが美味しく量もちょうどいい」「ご飯が暖かいのが嬉しい」と売れ行き好調です。

レストランを飛び出して、弁当販売を始めたのには理由があります。安心安全の食材で美味しい弁当を提供するのはもちろんですが、それによってスタッフの工賃（給料）を少しでも上げて自立した生活を送れるようにするため。「すべて手作りなので、まだ限定販売しかできませんが、これから販路を増やしていきたいと思っています」と佐藤さん。

容器が返却できれば、一般の方の購入も可能です。おいしさと想いの詰まったレストランぴあのお弁当を、ぜひ一度ご賞味ください。



NPO法人 福祉ネットABC

■榴ヶ岡レストランぴあ TEL: 022-295-7611
(みやぎNPOプラザ内)
■遠見塚レストランぴあ TEL: 022-781-0161



ボランティアメニューを作ろう！

「ボランティア」の3原則は「自主性」「無報酬」「公共性」。何より“自らの意思ですすんです”という自主的、自発的に主体性を持ち活動することに重点が置かれます。その選択を尊重し、ボランティアにとってもNPOにとっても双方が良い結果となることが望まれます。ボランティアは、単なる「人手」「労働力」ではなく、サービスを受ける人のパートナーであり、NPOにとっては地域に自分たちの活動を伝える広報者であり、評価する存在でもあります。期待する成果を生み出すためには、ボランティアと受け入れるNPOとの両方のニーズを充たす「ボランティアメニュー」をしっかりと作ることが重要です。

◆何のために受け入れるのか目的を明確にしましょう。

なぜボランティアを募集したいのですか。漠然としたボランティアではなく、具体的な内容を明確にしましょう。
・なぜ、あなたの団体ではボランティアが必要なのか。
・その内容は、ボランティアからも共感を得ることができますか。

◆ボランティアをしたい人のヒアリングをしっかりと（最低1時間は）しましょう。

「登録カード」を作成し、何がしたいか、何ができるか、ボランティアに参加できる時間や曜日、地域などをヒアリングしながら記入していきましょう。

◆ボランティア自身が「選べる」こと

「選ぶ」ということは、自己決定していく大事なプロセスです。ボランティアの自己実現を支援していくためにも、仕事を分け、時間の設定を細分化し、ボランティア自身が「選べる」環境を作りましょう。

◆「感謝」を伝えましょう。

感謝の気持ちを伝えることは、次回の活動への励みにつながります。ぜひ、心から「ありがとう」の一言を！どのような方法で感謝の気持ちを伝えるかは、ぜひそれぞれで工夫してみましょう。

◆活動の終了後、あるいは定期的に、「振り返り」を行いましょう。

ボランティア、スタッフともコミュニケーションを取り、サポートできる振り返りが大切です。次はどうしたらいいか、そのために何ができるか一緒に考えることで、次の活動につながります。また、お互いに期待していた成果があったのかも振り返りましょう。

みやぎNPOプラザ主催講座「実践！ボランティアメニューを作ろう！」
(1月31日)開催より

資金獲得のポイントを学ぶ

- 日 時：2月26日(火) 14:00~16:00
- 講 師：荻上 健太郎さん
日本財団 経営企画グループ 情報コミュニケーションチーム
- 対 象：NPOや市民活動、ボランティア活動をしている方

NPOのための 労務マネジメント

- 日 時：3月14日(金) 13:30~15:30
- 講 師：猪狩 慎一さん(社会保険労務士)
- 対 象：スタッフを雇用している、またその予定があるNPO法人や市民活動団体

※定員：20名/参加費：500円(資料代)

これでバッチリ!

NPOの会計監査のツボ

- 日 時：2月28日(木) 13:30~16:30
- 講 師：橋本 潤子さん(公認会計士)
- 対 象：NPOや市民活動団体の監事・理事・代表者・会計担当者・スタッフなど

サクサク作成!

NPOの決算書の作り方

- 日 時：3月13日(木) 13:30~16:30
- 講 師：成田 由加里さん(公認会計士・税理士)
- 対 象：NPOや市民活動、ボランティア活動団体のメンバー等

※定員：15名/参加費：800円(資料代)

【共通事項】

- 申込：要予約。所属団体名・参加者氏名・連絡先・電話番号・FAX番号
質問事項などをご記入の上、下記みやぎNPOプラザまでFAX・メール・電話にてお申込みください。
- 主催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施：特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

■新規のNPO法人認証団体(平成19年12月7日~平成20年1月末日まで)

団体名	所在地	活動内容
アクティブ	仙台市宮城野区	余暇活動支援事業、就労支援事業、自立支援事業、生活支援事業、相談支援事業、人材養成事業等
日本ベトナム障がい者支援センター	気仙沼市	ベトナム戦争時に使用された枯葉剤の影響により障がいを持って生まれてきた子供達の生活の支援、及び枯葉剤被害者へのサポートや自立支援等を含めた国際協力活動
幸創	仙台市宮城野区	「障害者自立支援法」に基づく就労継続支援(施設B型)、共同生活援助(グループホーム)等
ネットワークオレンジ	気仙沼市	障がい児者の社会参加支援、生活支援、就労支援システムを確立。障がい児者に対する理解を深めるとともに、地域の社会資源を有効活用した「地域の活性化」
ほっぷ	仙台市太白区	就労移行支援事業、就労継続支援事業、カウンセリング、普及啓発等
禁煙みやぎ	仙台市宮城野区	フォーラムや講演会によるたばこの害の啓発に関する事業等
日本仏教心理カウンセリング協会	仙台市青葉区	仏教の教えを基にした心理カウンセリングにより、心に起因する社会問題の予防と解決
美里町文化振興事業団	美里町	美里町を中心とした高齢者向けの文化事業の情報提供及び講師の派遣等、文化活動の振興、育成、支援及び舞台芸術芸能の鑑賞機会提供
マリアージュ シンシア	仙台市青葉区	結婚相談事業
地球環境保全ネットワーク	栗原市	自然環境の浄化事業等
みんなの足	大崎市	福祉有償運送事業

会計・税務相談

2月22日(金) 13:00~16:00

労務相談

2月21日(木) 13:00~16:00

法人設立・運営相談

毎週水曜日 13:00~16:00

※定員：各3団体(1団体1時間程度)要予約

ミドル&シニアのための ボランティア情報サロン

- 日 時：3月22日(土) 14:00~16:00
- 会 場：みやぎNPOプラザ 交流サロン
- 参加費：300円(お茶菓子代)

レストラン 事務室 入居団体 募集中!!

みやぎNPOプラザでは、NPOや市民活動団体の皆さんに、コミュニティビジネス挑戦の場としてのレストラン、活動拠点になる事務室をお貸しします。
この機会をお見逃し無く!

●募集施設および募集団体数

- ・レストラン (月額15000円) 1団体
- ・事務室大(約18㎡ 月額18000円) 1団体
- ・事務室中(約9㎡ 月額9000円) 3団体
- ・事務室小(約4㎡ 月額4000円) 2団体

●申込方法

必ず「募集要項」の応募団体の要件、入居後の使用条件、選考の方法、入居までのスケジュールなどの詳細をご確認のうえ、所定の申込書と必要書類を併せて、みやぎNPOプラザまでご持参ください。

●申込締切

平成20年2月29日(金)

●募集要項・申込書配布場所

みやぎNPOプラザ窓口、宮城県NPO活動促進室などで配布します。
また、みやぎNPO情報ネットからもダウンロードできます。



昨年12月、宮城で500件目のNPO法人が認証されました!

村井知事より設立認証書を交付された500件目のNPO法人「アクティブ」